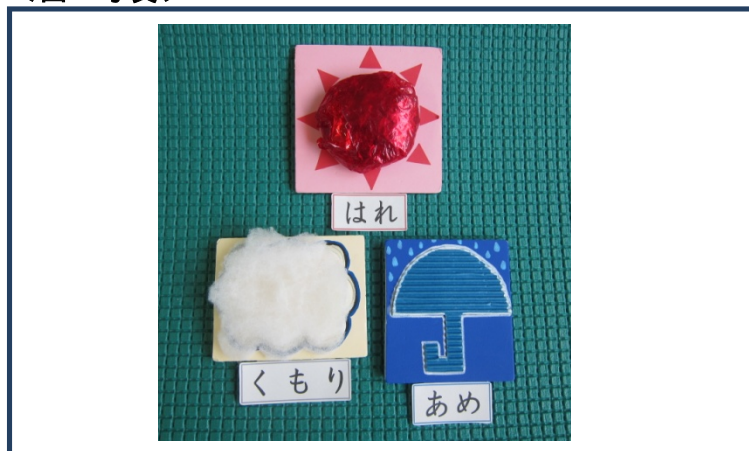


主な使用場面・領域・教科等： 天気調べ・朝の会

<図・写真>



<材料・製作方法等>

- ・ プラスチックパネル
  - ・ カラーセロハン（晴れ）
  - ・ キルト芯（曇り）
  - ・ 片段ボール（雨）
  - ・ 色画用紙
- 晴れのカードは、触ったときに音が出やすいように中にもセロハンを入れて厚みを出すようにした。
- 曇りのカードは、キルト芯を2枚重ねて貼り付けている。

<ねらい>

- 天気調べの際に、それぞれの天気の感触を味わいながら、天気の確認をすることができるようにするために制作した。

<指導方法・留意点等>

- ・ S・HN児の朝の準備での天気調べと朝の会の天気調べのコーナーで使用する。
- ・ 天気の発表の活動が終わった後、一人ずつ感触を確認する時間を設ける。
- ・ 晴れと雨のカードを提示するときには、音を鳴らしながら児童に近づけていくようにし、その後にカードの感触を味わうようにする。
- ・ 曇りのカードを提示するときには、「ふわふわ」という言葉を教師が言いながら、触れるようにする。

<指導経過・成果・課題・展望等>

- ・ 指導当初は、カードに触れても手を離して、カードの感触を味わうことはなかった。
- ・ 曇りのカードは、初め綿を使用していたが、児童が握ってはがすようになったため、キルト芯へ変更した。
- ・ K・K児は、繰り返し触れることで、感触に慣れ、提示したカードに触れると、自分で感触を何度も確認する動作が見られるようになった。他の授業において、類似した感触のものに触れて、慣れるまでの時間が短くなり、様々なものに触れることができるようになってきた。
- ・ S・HM児は、天気カードが手に触れると、自分で触ろうと右手を動かすようになった。
- ・ S・HN児が朝の準備の時間に天気調べを行っており、自分でカードを選ぶようにしている。そのため、2学期からひらがな表記を加え、ひらがなに触れる機会にもなるようにした。
- ・ 毎日行う朝の会で、繰り返し感触を味わいながら活動をする機会があることで、朝の会に見通しをもったり、ものへの興味・関心が広がっていったりすると考えている。

